

祖父も父も私も服屋さん

私は昭和47年8月に奈良市で生まれました。この年は第二次ベビーブームの真っ盛りで子供の数がとにかく多く、激しい受験戦争や就職活動と常に競争にさらされてきた世代です。同じ年の有名人も沢山いましたが最初に有名になったのは貴乃花関でした。私がただの大学生だった時に彼は既に大横綱。私が宮沢りえさんのサンタフェエを銀座で数時間かけて並んで買っている時に彼は何と婚約。この差は一体なんのだろうと落ち込んだこともあります(笑)

私の父は婦人服専門店を経営をしていましたが、元々は祖父の経営する会社で働いていました。しかし自分で独立して事業を興したいという思いから事業を立ち上げました。父は事業意欲が有り能力も非常に高かったので事業を順調に成長させました。母はとにかく人にに対して丁寧で真摯に物事にも向き合う性格でしたので、周囲の生き方です。



↑3歳の頃



↑生き方に憧れる祖父

りに母のことを悪く言う人はいませんでした。コミュニケーションを取るのが上手な父と自分に出来ることを愚直にやり続ける母。今の仕事に大切な必要な能力を私は両親から教えてもらつた気がします。

私の理想の人生は祖父

そして私がこの人の様な人生を送りたいと思っていますが、それが祖父なのです。実は祖父は紳士服小売業をしていました、所謂スーツ屋さんです。元々は銀行に勤めていたのですが、自分よりも明らかに仕事能力が無いのに学歴があると言うだけでどんどん追い抜かされていくサラリーマン社会に限界を感じ自分で事業を立ち上げました。当時まだオーダーでスーツを仕立てるのが当たり前だった時代に、これからは既製服の時代が来ると先読みし当時まだ殆どなかった既製品のステッツの販売を始めたのです。その事業は高度経済成長の時代にも乗り大繁盛、一代で財を築きました。でも私が憧れたのは祖父の生き方です。

「よくそんな格好でここまで来たね。。。」

ものすごいショックでした、でも何も言ひ返すことが出来ませんでした。自分の存在そのものを否定されている感じがして、それなりに有った自信も何もかもなくなりました。その日以降私の生活は一変したのです、周りにいる人はみんな同じよう思っているのではないか?私の格好を見て笑っているのではないか?と疑心暗鬼にな

りに母のことを悪く言う人はいませんでした。コミュニケーションを取るのが上手な父と自分に出来ることを愚直にやり続ける母。今の仕事に大切な必要な能力を私は両親から教えてもらつた気がします。

私の人生を決定づけたこの一言

それでもう一つ私の人生を決定づけた忘れられない出来事があります。高校一年生の時でした、すごく好きな女の子がいたのですが勇気がなくなかなかデートに誘うことができない出来事ですが、ある日思い切って誘ったのです。意外に彼女はあっさりとOKしてくれてデートすることになりました。当時一番自信の有ったスタイルで待ち合わせ場所に向かいました。しかし私の服を見た瞬間に彼女はこう言い放つたのです。

ら漠然と思っていたので、今私が結果的にスーツの仕立て屋をしているのは偶然ではないと思います。

最悪の状況を救つてくれた姉のコーディネート表

そんな最悪の状況を救つてくれたのが姉でした。姉は小さい頃ファンションが大好きでセンスも抜群でした。あまりにダサく、落ち込んでいる弟の姿を不憫に思つた姉は母と相談し私に一週間分のコーディネート表を作つてくれた上に、親と相談して私に服を買つてくれたのです。そのコーディネート表は上から下まで何をどう着るのか?ソックスの色まで細かく指示したものでした。服に関して全く自信の無かつた私は100%に従いました。するとすぐに変化が現れました。

「オシャレだね!! 何か今日カッコイイね!!」

私が服屋になつた原点

今まで言われたことの無いようなことを次々と言われるようになりました。最初は戸惑いました、試しにいつもの服を着てみたら何も言われない。でも姉の指示通り着ると必ず褒められる。でもその違いが私には全然分からなかつたのです。でも褒められることがすごく自信になつて、毎日が愉しくなつていきました!男子校に行つていたので女の子と話すだけでも緊張し

やると決めたことは何があつても最後までやり切る、人の面倒はとことん見て自分の能力を他人を助けることに使う、そして常にスリムな体型でオシャレでした。そんな祖父の様に生きたいと幼少のころから漠然と思っていたので、今私が結果的にスーツの仕立て屋をしているのは偶然ではないと思います。

やりと決めたことは何があつても最後までやり切る、人の面倒はとことん見て自分の能力を他人を助けることに使う、そして常にスリムな体型でオシャレでした。半年後には50人中48番になつていました。自己概念は最悪、何をしても面白くない日々が続きました。

50人中2番だった学校的成績も急降下し、半年後には50人中48番になつっていました。自己概念は最悪、何をしても面白くない日々が続きました。

りました。それだけではありませんでした。50人中2番だった学校的成績も急降下し、半年後には50人中48番になつっていました。自己概念は最悪、何をしても面白くない日々が続きました。